令和８年８月４日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－３

令和７年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【瑞浪地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	２，６２４，３０８円
交付金決定額	２，５７７，０００円
（うち加算額）	（０円）
交付金決算額	２，５７７，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ２０
・事後評価調書　Ｐ２１～Ｐ２４
・参考写真
（令和７年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２５～Ｐ３１

様式第8号(第11条第1項関係)

令和8年4月30日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町1丁目1番地
名称：　瑞浪地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　坂井　宗明

夢づくり地域交付金実績報告書

令和7年5月2日付瑞浪市指令第50号で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第11条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 実績書(様式第9号)

事　業　名
安全・安心なまちづくり事業
潤いのあるまちづくり事業
地域内の交流が活発なまちづくり事業
広報事業
(　　)基金積立事業

2. 活動記録等の資料(写真等)
3. 帳簿の写し(監事の記名・押印のあるもの)
4. 通帳の写し
5. 契約書の写し(1件の支払額が50万円を超える場合に限る。)
6. 備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録(ステップアップ事業)

注1)不要な文字は抹消すること。
注2)上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

安全安心なまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題

人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化などの社会的変化により、地域住民のつながりが弱まっていると感じる方も多いかと思います。担い手不足や活動のマンネリ化に対処するためには、新しいアイデアや若い世代の参加を促すことが効果的です。また、防犯・防災活動への参加を通じて、地域住民のつながりを強化し、共助の精神を育むことが大切です。

活動内容

１，防犯事業

青色回転灯防犯パトロール活動は、子供たちの安全を確保するだけでなく、地域コミュニティの絆を強化する重要な役割を果たしています。これらのパトロール活動は、犯罪の予防にも寄与し、地域住民が互いに協力し合うことで、より安全安心な環境を作り出すことができます。

２，防災と安心安全事業

①自主防災訓練

自助、共助、公助の精神に基づき、地域社会が一丸となって災害に立ち向かう体制を整えることで、万が一の時にも迅速かつ効果的な対応が可能になります。地震災害に備えて、非常食の作り方や飲料水の確保そして段ボールトイレの作り方などをテーマにした自主防災訓練を行います。

②普通救命講習会

突然、大切な家族や友人、近くの人が倒れたら一刻も早い心肺蘇生が必要のため普通救命講習会を実施します。

３，健康づくり事業

①土岐川堤防健康ウォーキング

土岐川堤防沿いでの健康ウォーキングは、家族向けのイベントとして、楽しみながら健康に良い活動を行うことができます。

②健康講演会

健康に関する講演会は、身体や心の健康についての知識を深める素晴らしい機会です。地域住民の健康を促進する取り組みです。

４，見守り事業

今、子どもや高齢者の安全と安心を守る「見守り事業」が注目されています。地域のお祭りや「いきいきサロン」などのイベントを通じて、子どもたちが高齢者と触れ合う機会を創りことで、相互理解と尊敬の精神を育み、地域全体の福祉と連携を深めることができます。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１，防犯事業

青色回転灯防犯パトロールによる巡回は、毎月第１第３金曜日午後３時から小中学校通学路を中心に、第２第４第５金曜日午後7時からからは地域全体を対象に実施します。延べ１３０名（年／40日）で行います。

２，防災と安全安心事業

①地震災害に備え自主防災訓練の開催

訓練への参加者は、各区役員及び防災対策担当者（一般区民参加可）で１００名の参加者で開催します。

②普通救命講習会（３時間講習）

参加者は各区役員と活動に不安を感じている方々や地域の奥さんを対象に１回２０名程度で２回開催します。

３，健康づくり事業

①土岐川堤防健康ウォーキングを春に１５０名の参加者で開催します。

②「健康寿命を延ばすためには！」と題して健康講演会を、域学連携を活用して中京学院大学または中部学院大学を講師に招き、参加者５０名で開催します。

４，子ども高齢者見守り

地区で開催されるお祭りや「いきいきサロン」のイベントを利用し「昔の遊び」（けん玉・こままわし）などの交流会を１回以上行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

512,000 円

５　交付金申請額

501,300 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第9号(第11条第1項関係)

実績書

1 事業名

安全・安心なまちづくり事業

2 活動報告(活動内容等)

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第1、第3金曜日は午後3時から小中学校通学路を中心に、第2、第4、第5金曜日は午後7時から地域全体を対象に実施した。
②防災講演会は、「みずなみ防災会」の協力を得て、ハザードマップを見ながら確認、学習をした。
③AED・心肺蘇生法を学ぶ普通救命講習会を2回実施した。
④子ども、高齢者見守り活動は、竹馬、竹とんぼづくりを行った。
⑤土岐川堤防健康ウォーキングを春に開催した。
⑥健康講演会は、健康に関するテーマで理学療法士の方に講演をしていただいた。

3 事業成果(目標に対しての成果:数字等でわかりやすく)

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第1、第3金曜日は午後3時からと、第2、第4、第5金曜日は午後7時から。延べ42日・99名で実施した。(計画＝40日／年　延べ120名)
②防災講演会　各区区長、副区長、役員など43名で、ハザードマップを見て学習した。(計画＝50名)
③普通救命講習会は、9月17日(水)、20日(土)の2回、AED・心肺蘇生法を学んだ。参加者は計24名であった。
④子ども・高齢者見守り隊活動は、親子で竹馬、竹トンボづくりを行った。
⑤土岐川堤防健康ウォーキングは123名の参加者であった。
コースは土岐川堤防沿いと、高松観音コースの2種類で実施した。(計画＝120名)
⑥健康講演会は、健康に関する講演会を開催。参加者は24であった。

4 事業に要した経費(総事業費)

351,175　　円

5 夢づくり地域交付金充当額

340,475　　円
(内、交付金加算額　　円)

6 合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容（安全安心）

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	土岐川堤防健康ウォーキングチラシ印刷	印刷費	22,000
	青色回転灯防犯パトロール案内	通信費等	4,250
	ウイルス対策ソフト	使用料等	12,980
5月	土岐川堤防健康ウォーキングテープ購入	消耗品費	327
	せんべい購入	食糧費	17,280
	土岐川堤防健康ウォーキング養生テープ	消耗品費	983
	切手購入	通信費等	6,400
	バロー商品券（ウォーキングイベント用）	報償費	10,000
	カッターナイフ（ウォーキング準備）	消耗品費	1,381
	お茶購入（ウォーキング準備）	食糧費	1,437
	イベント用名札	消耗品費	14,720
6月	ウォーキング用お茶、お菓子	食糧費	26,330
	イベント参加者粗品	消耗品費	84,150
7月	チラシ印刷（救急救命講習会）	印刷費	22,000
9月	葉書購入	通信費等	5,100
	切手購入	通信費等	2,430
	彫刀購入（竹馬、竹とんぼづくり用）	消耗品費	4,576
	子ども高齢者見守り隊参加者おにぎり	食糧費	4,199
10月	竹馬づくりお茶代	食糧費	2,160
12月	コピー用紙大	消耗品費	5,445
	竹馬づくり用針金代	消耗品費	919
	避難時食糧ビスケット	食糧品費	13,478
	防災講演会振込手数料	手数料	330
1月	葉書購入	通信費等	17,000
2月	健康講演会講師謝礼	報償費	20,000
	健康講演会参加者ノベルティ	食糧費	51,300
合計			351,175

8 収支実績

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	本年度予算額	本年度実績	備考
夢づくり地域交付金	512,000	351,175	
自主財源	0	0	
その他(　　)			
合　　計	512,000	351,175	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項		支出内容	本年度予算	本年度実績	備考
経費区分	活動の内容				
防犯事業	青色回転灯防犯パトロール 住民参加の防犯活動を行う	通信費等	16,000	4,250	パトロール当番案内
		小計	16,000	4,250	
防災と安全安心事業	防災講演会 災害に備えるために「自分の命は自分で守る」ハザードマップを見ながら災害に対する知識や防災意識を学ぶ。	消耗品費	10,000	5,445	A3用紙
		食料費	20,000	17,610	参加者へのお茶
		通信費等	126,000	5,100	防災訓練の開催案内
		小計	156,000	28,155	
	救急救命講習会 緊急時の対応について学ぶ。	食料費	10,000	2,030	お茶
		印刷費	16,000	18,700	チラシ作成
		通信費等	5,000	4,675	講習案内
		小計	31,000	25,405	
健康づくり事業	土岐川堤防健康ウォーキング 地域住民が健康でいきいきと暮らすために、春に実施する。	消耗品費	53,000	51,087	粗品
		報償費	20,000	10,000	ウォークラリー賞品
		食料費	30,000	24,660	お茶
		印刷費	110,000	121,000	ウォーキングのチラシ
		小計	213,000	206,747	
子ども高齢者見守り事業	子ども・高齢者見守り隊 ふれあい活動を行うことで、子ども・高齢者の見守りを実施する。	消耗品費	25,000	919	針金代
		食料費	10,000	4,199	お茶
		小計	35,000	5,118	
健康講演会	健康に関するテーマで、理学療法士に講演を行ってもらった。	通信費等	10,000	10,200	講演会案内
		報償費	20,000	20,000	講師謝礼
		食糧費	31,000	51,300	参加者ノベルティ
		小計	61,000	81,500	
合　　計			512,000	351,175	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

潤いのあるまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
地域のつながりを強化し、住みやすい環境を作るために昨年度策定した「瑞浪地区地域計画２０２４」を実践していきます。また、地域住民が主体となり、学校と連携して、子どもや高齢者を含むすべての世代が参加できる活動を推進します。担い手不足や活動のマンネリ化に対処するためには、新しいアイデアや若い世代の参加を促すことが効果的す。
活動内容
１，花の苗配布活動
自治会や町内会に所属する団体や学校などが、地域の美化と環境づくりに貢献する花の苗配布活動は、公園や学校、道路沿いの花壇に花を植えることで、地域に潤いと活気をもたらします。参加する団体や学校は植え付け後の花壇の管理も担います。
２，心和ませ自然を守る活動
万尺川でホタルの生態系を守り、ホタルの幼虫を地域で育て、その生態について学ぶことを通じて自然環境の大切さを理解し、地域社会に貢献することを目的としています。ホタルの成長を支援し、美しい自然を次世代に継承しホタルが光り輝く万尺川を守る活動を推進していきます。
（１）ホタル
①ホタルが飛び交う万尺川を「ホタルが居着く川」となるよう次世代へ引き継ぐために里親を募集します。
②ホタルの幼虫放流と観る会を、瑞浪地区子ども会育成会連合会（瑞子連）と協働事業とし特に子供たちの安全を守り開催します。
③自然豊かな万尺川を守るたまに周辺の地域の皆さんと一緒に草刈りやごみ拾いなどの清掃活動を実施します。
（２）フジバカマの植栽活動（美しい蝶の呼び込み）
後世まで心和ませる自然環境を守るために、フジバカマの苗を学校と地域の花壇等に植栽します。アサギマダラ蝶は、フジバカマの花蜜から毒素（ピロリジン）を体内に取り込み鳥などの天敵から身を守ったり、花粉を運び受粉を助けます。地域の家族と子どもたちに美しい花と蝶の関係を知って頂くことにより、命と美しい自然環境の大切さを感じてもらいます。
３，絵手紙・ちぎり絵教室
絵手紙・ちぎり絵を体験することで、手書きのすばらしさや温もりと、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わっていただく教室を開催します。
４，男女共同参画事業
男女共同参画は、性別に関わらず全ての人が能力を発揮し、活躍できる社会を目指す重要な取り組みです。多様なバックグラウンドを持つ人々が協力し合い、より公平で包括的な地域とするため、講演会などを開催し理解と意識を高める機会を提供します。
５，みずなみ美化
草刈りなどの清掃活動は歩道を清潔に保ち、犯罪を防ぐ効果があるだけでなく、地域住民の皆さんが協力し合うことでコミュニティの絆も強まります。この活動は、地域の美化だけでなく、住民の皆さんの生活の質の向上にも繋がります。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１、花の苗の配布事業
希望する団体に、春４，５００ポット、秋３，５００ポット合計８，０００ポットと肥料を配布します。
２、心和ませ自然を守る
（１）ホタル事業
①里親を３組お願いし幼虫１，０００匹飼育します。
②「ホタルを観る会」は「瑞子連」との協働開催で、６月上旬開催し参加者は５００名を予定します。
③３月下旬万尺川周辺の地域の皆さんと「瑞子連」の子ども達と一緒に、万尺川の清掃活動を行いホタルの幼虫１，０００匹を放流します。
（２）フジバカマの植栽活動事業
苗３００本を購入または地域の愛好家などから譲受、地域の公園や学校の花壇に植栽します。
３，絵手紙・ちぎり絵教室
年６回開催、開催月の第1土曜日午後に開催します。参加者は、１回２０名で年１２０名の参加者を予定します。
４，男女共同参画事業
「男女共同参画社会」に関する講演会を１回５０名の参加者で行います。
５，みずなみ美化（草刈り隊）事業
寺河戸地区、小田地区、山田地区の３地区に１組以上の草刈りチームを令和７年度末を目標に組織します。

４　事業に要する経費（総事業費）

826,500 円

５　交付金申請額

806,500 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第9号(第11条第1項関係)

実績書

1 事業名

潤いのあるまちづくり事業

2 活動報告(活動内容等)

1、花の苗の配布春・秋の年2回実施した。
2、3月下旬、蛍の幼虫を放流するとともに万尺川の清掃を実施した。源氏蛍の捕獲から交尾・採卵・幼虫飼育を行い幼虫100匹以上を放流した。万尺川清掃及び蛍の生態と飼育について小学生と一緒になってミニ蛍教室を実施した。気候が大変暑く幼虫の飼育が不調で、里親活動が出来なかった。
3、絵手紙・ちぎり教室を年6回開催した。
4、「男女共同参画社会」に関する講演会を行った。
5、瑞浪美化チームは人数は7名と少ないが、2チームの体制作りができた。
6、3月29日、桜まつり実行委員会とコラボし、バブルパフォーマンスを開催した。令和7年度初めての試みで、凡そ1000名の参加者がパフォーマンスの芸を鑑賞した。

3 事業成果(目標に対しての成果:数字等でわかりやすく)

①花の苗の配布 春34団体に4,630ポット、秋24団体に3,124ポット合計7,754ポットを肥料と一緒に配布した。
(計画=8,000ポット)
②3月21日「瑞子連」の親子30名と近隣の皆さん15名が参加して、ミニ蛍教室実施後 100匹以上の幼虫を放流した。「万尺川に蛍を取り戻すため」 環境美化活動として万尺川のゴミ集めを行った。
6月5日「瑞子連」と協働で蛍観賞会開催、地域貢献企業ダイナム様の会場提供もあり、子ども280名を含む460名の参加で実施した。里親は暑さのせいか幼虫の育ちが悪くできなかった。(計画里親=3、幼虫放流計画=1,000匹)
③絵手紙・ちぎり絵教室を6回開催し参加者は112名でした。(計画:6回120名)
④「男女共同参画社会」"地域で考えよう!男女共同参画社会"をテーマに、講演会を開催。
26名の参加者で実施した。(計画=50名)
⑤瑞浪美化チームは、草刈り隊として2チーム7名の参加体制で活動を行った。
(計画=講習会1回、組織化3チーム)
⑥バブルパフォーマンスは、三重県からバブルを操るパフォーマーを招き、さくらの花が満開の元、バブルの芸を楽しんだ。参加者は、親子合わせて1000人もの集まりがあった。

4 事業に要した経費(総事業費)

1,037,959 円

5 夢づくり地域交付金充当額

1,017,959 円

(内、交付金加算額 円)

6 合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容(潤いのある)

(単位:円)

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	絵手紙教室案内はがき	通信費等	2,550
	環境美化(草刈り隊)	食糧費	831
5月	ミニLEDランプ	消耗品費	2,399
	絵手紙用画用紙	消耗品費	1,729
	ホタルを観る会安全対策ロープ	消耗品費	3,058
	フジバカマ苗の購入	消耗品費	38,000
6月	春の花苗購入	消耗品費	317,800
	男女共同参画チラシ代	消耗品費	19,800
7月	絵手紙教室案内はがき	通信費等	2,200
	ホタルを観る会ジュース代	食糧費	37,500
	ホタル幼虫餌(カワニナ)	消耗品費	5,840
	ホタル幼虫飼育材料	消耗品費	4,499
	乾電池代	消耗品費	1,798
	男女共同参画用消耗品	消耗品費	3,630
	男女共同参画資料送付代	通信費等	303
	男女共同参画使用紙コップ	消耗品費	389
	男女共同参画講演会用生け花代	消耗品費	5,000
	男女共同参画講演会用お茶代	食糧費	4,080
8月	男女共同参画講演会講師謝礼	報償費	20,000
	環境美化(草刈り隊)	食糧費	713
	ホタル幼虫餌(カワニナ)	消耗品費	5,840
9月	絵手紙・ちぎり絵教室画仙紙	消耗品費	970
	農業支え棒	消耗品費	2,739
	草刈り隊お茶代	食糧費	593
	チップソー代	消耗品費	7,018
	万尺川草取りお茶代	食糧費	748
	草刈り用燃料代	光熱水費	3,280
10月	絵手紙・ちぎり絵教室講師謝礼	報償費	10,000
	絵手紙・ちぎり絵教室お手伝いお茶代	食糧費	509

11月	花の苗配布(秋)	消耗品費	220,080
	可燃ごみ袋	消耗品費	1,840
	クリアポケット代	消耗品費	220
	絵手紙・ちぎり絵教室画用紙	消耗品費	1,000
	花苗代振込手数料	手数料	220
12月	ホタル幼虫餌(カワニナ)	消耗品費	7,600
	カワニナ代振込手数料	手数料	330
2月	さくらさくら打合せ用お茶代	食糧費	5,100
	さくらさくら打合せ用お茶代	食糧費	1,700
3月	絵手紙・ちぎり絵教室チラシ印刷代	印刷費	14,520
	ホタル幼虫餌(カワニナ)	消耗品費	7,600
	蛍幼虫・万尺川清掃用ゴミ袋・紙コップ代	消耗品費	1,743
	カワニナ代振込手数料	手数料	330
	投光器	消耗品費	221,100
	蛍幼虫・万尺川清掃お茶、ジュース代	食糧費	7,361
	蛍飼育指導者への謝礼	報償費	1,188
	バブルパフォーマンス時使用乾電池	消耗品費	1,412
	バブルパフォーマーへの謝礼	報償費	40,000
	バブルパフォーマーへの弁当代	食糧費	799
合計			1,037,959

8 収支実績

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	826,500	1,037,959	
自主財源	0	0	
その他(　　)			
合　　計	826,500	1,037,959	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項			支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容					
花の苗配布	コミュニティ花壇整備事業で、春・秋に花の苗を地域の団体に配布し、潤いのある地域環境づくりを推進する。		消耗品費	527,000	537,880	花の苗代
			手数料	0	220	
			通信費等	0	5,700	苗引換用葉書
			小計	527,000	543,800	
自然を守る	チームホタル	環境保全を推進するとともに、家族の絆を強くする。万尺川を蛍が居つく川とする。ホタルを観る会と清掃活動を実施する。	報償費	2,000	1,188	
			消耗品費	62,500	49,197	餌カワニナ
			手数料	1,000	660	振込手数料
			食料費	20,000	35,609	お茶ジュース
			小計	85,500	86,654	
	フジバカマ植栽	後世まで心和ませる自然環境を守る。美しい蝶とフジバカマを残すために公園や学校の花壇に苗を植栽する。	消耗品費	46,000	38,000	苗代
			通信費等	1,000	0	
			食料費	3,000	0	
			小計	50,000	38,000	
絵手紙教室	絵手紙・ちぎり絵を体験することで、参加者相互の触れ合いを感じると同時に「繋がり」と「楽しさ」を味わい、絆を強くします。		報償費	10,000	10,000	講師謝礼
			印刷費	18,000	14,520	チラシ印刷
			消耗品費	20,000	3,699	画仙紙・半紙
			通信費等	10,000	4,750	年6回の開催案内
			小計	58,000	32,969	
男女共同参画事業	まちづくり事業活動に、女性が参加していただくためにも「正しい男女共同参画とは」などの講演会を開催します。		報償費	20,000	20,000	講師謝礼
			印刷費	30,000	19,800	チラシ印刷
			消耗品費	5,000	5,992	演台生花
			通信費等	1,000	3,630	付箋用紙
			食料費	2,000	4,080	お茶
			小計	58,000	53,502	
環境美化チーム	環境美化地域コミュニティの活性化を目的に組織作り活動をします。　自走式草刈り機の操作方法や安全対策について講習会を開催します。		備品	12,000	7,018	チップソー
			食料費	2,000	2,625	お茶ジュース
			光熱水費	4,000	3,280	草刈り機燃料
			印刷費	30,000	0	
			小計	48,000	12,923	
さくらさくらパフォーマンス	さくらさくら散歩道の更なる活性化を図るため、バブルパフォーマーを招き、バブル芸を鑑賞した。		報償費	0	40,000	パフォーマーへ謝礼
			消耗品費	0	222,512	投光器
			食糧費	0	7,599	打合せお茶代
			小計	0	270,111	
合　　計				826,500	1,037,959	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
瑞浪地区の取り組みは、地域と学校が協力して多様な課題に対応しながら、家族を中心にした活動を通じて連帯感を育むことで、住みやすい環境を作り出すことを目指します。この地域づくりは、社会の変化に柔軟に対応し、地域の絆を強化する重要なステップです。また、地域学校協働活動を推進し地域の課題解決につなげていきます。
活動内容
１，体験農業事業
さつま芋苗の植付け
子どもが主役となって地域ぐるみ家族ぐるみで実施、つながりがある交流を深め地域の絆を強くします。
２、家族ふれあい芋ほり大会事業と「青空ワークショップ」
食の大切と収穫の喜びを感じ、地域のつながりがある交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施します。「芋ほり大会」には、家族単位で参加し一番大きいさつま芋1個の重さで競い、1位から10位までの順位を決め表彰します。また、協働事業として瑞浪地区子ども会育成連合会（瑞子連）や地域貢献活動企業と一緒に行います。芋ほり大会後、農園に多く参加している若い２０代世代の方が主になって、担い手不足などの課題解消のためのアイデア創出に繋がる「青空ワークショップ」を行います。
３，自然とのふれあい事業
①ニホンミツバチ飼育
環境指標生物でもある「ニホンミツバチ」の生態を、子どもたちに身近に感じていただく事により、自然環境でミツバチが野菜や果樹に自然にはたしている役割などを学習します。（東濃農林事務所には「飼育届」を提出済です。）
②カブトムシ飼育と昆虫採集
地域の子ども達に身近な昆虫の一つカブトムシの飼育を通して昆虫に興味を持ってもらうと同時に、昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝えていきます。子どもたちが夏休みの夜間、発電機の照明を利用し家族で昆虫採集を実施します。
４，寺子屋事業
近年地域の子ども達と大人がつながりができる環境や組織も少なくなっています。子どもたちの居場所創りを中心に夏休みを利用して、「寺子屋」を駅前地域の賑わいづくりをかねＭビルを利用し開設・運営を行います。サポーターは域学連携を活用したり、元教員や地域住民、学生、保護者などが寺子屋先生役としてボランティア募集して実施します。生徒とサポーターの募集方法は、チラシを作成し回覧や新聞折込で募集します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１，体験農業事業
・さつま芋の植え付けに参加者２０家族５０名で実施します。
２，家族ふれあい芋ほり大会事業
芋ほり大会の参加者８０家族３００名で行います。農園管理は延べ２５０名で行います。
「青空ワークショップ」には、５家族２０名程度で実施します。
３，自然とのふれあい
①ニホンミツバチ飼育事業
小中学生を対象に、ミツバチが野菜や果樹に自然にはたしている役割などの学習会を開催します。参加者する子どもは２０名を予定します。
②昆虫採集事業
小中学生を対象に、７月下旬から８月（夏休み期間中）の夜間に、子ども５０名とその家族が参加して実施します。また、カブト虫の幼虫５０匹を飼育し、参加した子供たちに配布して引きつづき飼育していただきます。
４，みずなみ夏の寺子屋事業
活動を駅前地域のＭビルを利用し夏休み期間中に１回（５日間）開催します。参加者は1日５０名程度で延べ２５０名の子ども達で行います。サポーターは１日５名は確保し述べ２５名で行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

867,000 円

５　交付金申請額

852,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第9号(第11条第1項関係)

実績書

1 事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

2 活動報告(活動内容等)

1, 体験農業
①親子が共同して家族ぐるみで、芋の苗の植付けを実施した。
2, 第5回芋ほり大会
瑞浪地区子ども会育成会連合会(瑞子連)と地域貢献活動企業との3者協働で実施した。芋ほりの前に、今年度初の試みとして、「青空ワークショップ」を開催した。タープの張り方を学んだり、思い思いの願いなどを付箋に書いたりした。
3, 自然とのふれあい活動
①ニホンミツバチ飼育と採密
気候が大変暑かったのか巣の育ちが悪く、学習会と採蜜活動は出来ませんでした。
②昆虫採集
事前にカブトムシバナナトラップを近くの雑木林に仕掛けましたが、カブトムシなど大型昆虫は飛来しなかった。
4, みずなみ夏の寺子屋
夏休みの子どもの居場所づくりを提供するとともに、駅前地域の賑わいづくりを兼ねた寺子屋を開設した。駅前のMビルを活用し、午前中の5日間実施した。

3 事業の成果目標(数字等でわかりやすく)

1, 体験農業
①さつま芋の苗植えに、親子合わせて58名が参加した。初めて土に触れる子も多く、悪戦苦闘しながらの作業であった。
2, 第5回家族芋ほり大会
芋ほり大会の参加者は、41家族、大人59人・子ども66人と、中学生ボランティア20人の総勢145人の参加で実施した。(計画=60家族・200名)
3, 自然とのふれあい活動
①ニホンミツバチ飼育と採蜜
夏は大変暑く、採蜜と学習会はできませんでした。分蜂は1巣成功しました。(計画=学習会1回、分蜂1巣)
②昆虫採集
昆虫採集は実施しましたが、大型昆虫は現れなかった。子どもたちに抽選で、飼育したカブトを配布しました。参加者は親子合わせて、100名ほどありました。(計画=カブト数匹)
4, みずなみ夏の寺子屋
参加した子どもは延べ200名に上り、高校生ボランティアなどがサポートをしてくれました。(計画=100名)

4 事業に要した経費(総事業費)

838,411 円

5 夢づくり地域交付金充当額

828,566 円
(内、交付金加算額　　円)

6 合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容(地域内の交流)　(地域内交流)

(単位:円)

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	体験農業チラシ印刷	印刷費	18,700
	農園草刈り時お茶代	食糧費	2,011
	草刈り機燃料代	光熱水費	3,460
	ふれあい農園芋肥料	消耗品費	5,322
5月	農園作業時お茶代	食糧費	1,061
	軍手、ロープ代	消耗品費	5,000
	体験農業ジュース代	食糧費	1,576
6月	さつま芋苗植え時飲み物	食糧費	13,790
	夏の寺子屋チラシ印刷	印刷費	33,000
	レクリェーション保険(体験農業)	保険料	32,863
	レクリェーション保険(芋ほり大会)	保険料	19,540
	さつま芋肥料	消耗品費	20,844
7月	電源柵購入(イノシシ対策)	原材料費	95,810
	寺子屋資料送付切手代	通信費	4,400
	4輪草刈り機修理	手数料	13,563
	さつま芋苗代	消耗品費	21,500
	昆虫マット、餌代	消耗品費	5,988
	昆虫マット、餌代	消耗品費	7,070
	草刈り機燃料代	光熱水費	1,580
	充電器用ガスボンベ	光熱水費	748
	農園草刈り時お茶代	食糧費	3,894
	昆虫採集用配線器具	消耗品費	2,136
	昆虫マット	消耗品費	3,801
	昆虫採集用目玉クリップ	消耗品費	1,051
	夜間用ブレスレット	消耗品費	1,399
	昆虫採集用材料代	消耗品費	3,664
	寺子屋用名札代	消耗品費	15,400
	草刈り機燃料代	光熱水費	1,620
	草刈り時お茶代	食糧費	3,576

8月	かんたん結束機	消耗品費	1,258
	ユニクロヘビーリンク	消耗品費	5,867
	寺子屋スタッフ用お茶代	食糧費	1,680
	寺子屋スタッフ用お茶代	食糧費	509
	昆虫ケース	消耗品費	550
	ユニクロ針金	消耗品費	5,847
	寺子屋スタッフ用お茶代	食糧費	1,092
	寺子屋スタッフ用お茶代	食糧費	1,260
	昆虫採集時冷却用板氷	消耗品費	1,503
	寺子屋スタッフ用お茶代	食糧費	845
	昆虫採集時ジュース代	食糧費	5,616
	寺子屋物品コンテナ	消耗品費	1,518
	みずやりポンプ燃料代	光熱水費	1,620
	芋ほり大会チラシ代	印刷費	49,500
	寺子屋スタッフ謝礼	報償費	14,000
	寺子屋スタッフ謝礼	報償費	11,000
	寺子屋スタッフ謝礼	報償費	11,000
	寺子屋スタッフ謝礼	報償費	12,000
	寺子屋スタッフ謝礼	報償費	13,000
	草刈り機燃料代	光熱水費	1,640
9月	ポンプ借用謝礼(お菓子)	食糧費	1,728
	農園草刈り時お茶代	食糧費	3,796
	草刈りチップソー	消耗品費	3,256
	上山田区公民館使用料	使用料等	20,000
10月	草刈り機燃料代	光熱水費	1,660
	草刈り機エンジンオイル	消耗品費	987
	芋ほり大会時お茶代	食糧費	19,440
	芋ほり大会準備用お茶代	食糧費	1,166
	芋ほり大会昼食代	食糧費	21,600
	芋ほり大会賞品代	報償費	31,000
	農園草刈り時お茶代	食糧費	2,592
	芋ほり大会紙皿、電池代	消耗品費	5,883

10月	草刈り用燃料代	光熱水費	1,630
	エンジンブロア代	備品購入費	43,780
	万尺川安全ロープ代	消耗品費	10,596
	芋ほり大会コンパネ代	消耗品費	15,060
	ポストイット(付箋)	消耗品費	3,432
	芋ほり大会お菓子袋	食糧費	64,800
	鎌、備中購入	消耗品費	34,565
	ごみ袋購入	消耗品費	920
	昼食代	食糧費	3,506
	タープの張り方指導謝礼	報償費	20,000
	上山田お堂使用料	報償費	20,000
12月	保育委託料	委託料	1,250
	保育委託料	委託料	1,670
	アンプの乾電池	消耗品費	1,120
	保育委託料振込料	手数料	330
	保育委託料振込料	手数料	330
1月	軍手代	消耗品費	875
	可燃ごみ袋	消耗品費	3,687
	農園倉庫片付けお茶代	食糧費	4,080
	農園倉庫片付け昼食代	食糧費	8,000
合計			838,411

8 収支実績

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	867,000	838,411	
自主財源	0	0	
その他(　　)			
合　　計	867,000	838,411	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項			支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容					
体験農業	子どもが主役となって、地域・家族ぐるみで体験農業を実施。地域の交流を図り絆を強くします。家族ふれあい農園でさつま芋の植え付けを行った。		報償費	50,000	51,000	農園・耕運機の謝礼
			消耗品費	76,000	42,666	芋の肥料
			食料費	62,500	18,448	お茶・ジュース・菓子
			印刷費	60,000	18,700	チラシ印刷代
			光熱水費	5,000	3,460	耕運機等燃料
			原材料費	68,500	85,810	電源柵購入
			保険料	33,000	32,863	傷害保険
			小計	355,000	252,947	
芋ほり大会	食の大切さと収穫の喜びを感じ、地域の交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施した。芋ほり大会は家族単位で参加し、掘った芋の重さを競い合い、1位から10位までの順位を決めて表彰した。		報償費	60,000	51,000	芋ほり大会景品
			消耗品費	39,000	80,381	荷札・厚紙・杭
			食料費	140,000	128,428	ジュース・お茶・菓子
			印刷費	55,000	49,500	チラシ作成
			光熱水費	5,000	10,498	草刈り機燃料
			保険料	30,000	19,540	損害保険
			手数料	20,000	14,223	保育委託手数料
			委託料	5,000	2,920	保育委託料
			備品費	0	43,780	エンジンブロア
			小計	354,000	400,270	
自然とのふれあい	ミツバチ飼育	蜜蜂が野菜や果実に果たしている役割などを子どもたちに学習していただく企画であったが、夏の暑さで蜜蜂は生育しなかった。	消耗品費	10,000	0	
			食料費	5,000	0	
			印刷費	15,000	0	
			小計	30,000	0	
	昆虫採集	子どもたちに昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝え、命の大切さを学ぶ企画として催した。	消耗品費	24,000	40,134	白布・杭・バナナトラップ
			食料費	10,000	5,616	ジュース・お茶・菓子
			使用料等	10,000	20,000	公民館使用料
				0		
			小計	44,000	65,750	
みずなみ夏の寺子屋	夏休みを利用して「夏の寺子屋」を開設。子どもたちの居場所づくりに貢献することを主眼とし、駅前地域の賑わいを取り戻すことにも役立てる企画とした。		報償費	41,000	61,000	駐車代・弁当代相当謝礼
			食料費	8,000	4,126	スタッフお茶代
			通信費等	5,000	4,400	開催案内・同意書等の郵送
			印刷費	20,000	33,000	チラシ印刷代
			消耗品費	10,000	16,918	生徒等名札代
			小計	84,000	119,444	
合　　計				867,000	838,411	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

広報事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
まちづくり活動の周知と参加を促進するためには、多様なコミュニケーション手段を駆使することで、多くの人々にリーチ（目にとまる）する効果的な方法と思います。参加しやすい環境を整えることで、まちづくり活動への関心と参加を促進とともに、参加者に「わくわく感」を持っていただくよう努めます。担い手不足や活動のマンネリ化に対処するためには、新しいアイデアや若い世代の参加を促すことが効果的です。
活動内容
１．広報紙「まちづくり新聞の発行」
　まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解とイベントへの参加を促進するため、まちづくり新聞を発行します。
２．みずなみ情報記者クラブ
　市民の皆様に、まちづくりの取り組みやイベント情報を効果的に届けるために、総務広報部にみずなみ記者クラブを設置します。このクラブでは、特に子供の教育に関心の高い若い世代の方々を対象に、FacebookやラインなどのＳＮＳを通じて、瑞浪地区まちづくりの活動や事業など重要なお知らせを発信していきます。
３．その他の広報事業
　平成18年に設置した「瑞浪地区まちづくり活動」をPRするための野立て看板の劣化が進んでいます。特に激しい入ケ洞池、上山田農園前の２カ所の野立て看板貼替を実施します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１、まちづくり新聞の発行事業
　まちづくり推進協議会の活動を住民に紙面で紹介、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年２回（８月・３月）全ページカラーで発行します。
２、みずなみ情報記者クラブ事業
　みずなみ情報記者クラブの構成は、総務広報部長以下全部員で構成しクラブ会議を年４回開催します。クラブ会議開催あたり、運営方法や情報内容を検討しホームページなどの情報を更新します。
３、その他の広報事業
　入ケ洞池、上山田農園前の２カ所の野立て看板貼替を年度内に実施します。

４　事業に要する経費（総事業費）

427,200 円

５　交付金申請額

417,200 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第9号(第11条第1項関係)

実績書

1 事業名

広報事業

2 活動報告(活動内容等)

1, 広報紙の発行
まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年2回(8月・3月)全ページカラーで発行した。
2、MIZUNAMI情報記者クラブ
ライン講習会を計画しましたが、講師の都合で出来ませんでした。
3、その他の広報事業
「まちづくり活動」をPRするために設置された野立て看板に破損及び剥離があるため、2箇所で貼り替えを行った。

3 事業成果(目標に対しての成果:数字等でわかりやすく)

①瑞浪地区約4,000戸の全戸に、全ページカラー版のまちづくり新聞を年2回発行した。(51号(8月1日)と
と52号(3月1日) (計画=発行2回)
②ライン講習会とクラブ会議を予定していたものの、実施できなかった。
(計画=講習会1回、クラブ会議)
③常盤渕公園、下山田団地の野立て看板2枚を補修し、貼り替えた。(計画=2箇所)

4 事業に要した経費(総事業費)

396,763 円

5 夢づくり地域交付金充当額

390,000 円
(内、交付金加算額 円)

6 合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（広報）

（単位:円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
8月	第51号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
11月	野立て広告看板貼替（摩耗指摘貼替コンテンツ）	手数料等	50,263
2月	第52号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
合計			396,763

8 収支実績

(1)収入の部

(単位:円)

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	427,200	396,763	
自主財源	0	0	
その他(　食品チケットの販売　)			
合　　計	427,200	396,763	

(2)支出の部

(単位:円)

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
広報誌　まちづくり新聞発行事業	まちづくり事業の理解と参加を促進するためにまちづくり新聞を発行します。	印刷費	358,600	346,500	まちづくり新聞発行
		食料費	0	0	
		通信費等	0	0	
		小計	358,600	346,500	
MIZUNAMI 情報記者クラブ	まちづくり事業の開催案内の周知、開催結果を効果的にSNSを通して発信します。	報償費	8,600	0	
		食料費	0	0	
		通信費等	0	0	
		小計	8,600	0	
その他の広報事業	野立て広告劣化のため貼替補修をします。	手数料等	60,000	50,263	野立て看板貼替2ヵ所
		小計	60,000	50,263	
合　　計			427,200	396,763	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	1
事業名	安心・安全なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	① 青色回転灯パトロールによる巡回：第1、第3金曜日は午後3時から下校見守り、他の金曜日は午後7時から地域全体を実施。延べ120人参加します。 ② 防災講演会は「みずなみ防災会」の協力を得て、ハザードマップを見ながら学習をします。 ③ 普通救命講習会は、AED・心肺蘇生法（3時間講習）について学びます。計40人参加します。 ④ 土岐川堤防健康ウォーキングを春に開催します。100人の参加を見込みます。	3
		実績値	① 青パト：第1、第3金曜日は小中学生下校時の15時から、その他の金曜日は19時から地域全体を周りました。実施回数は42回、延べ参加人数は99人でした。 ② 防災講演会は、自分の地域で災害が起きたときの避難を確かめるため、ハザードマップを見て学習しました。参加巣は、区長さんを中心に、43名でした。 ③ 普通救命講習会：尊い人命を救うために必要な知識と技能を身につけることを目的に、心肺蘇生法とAED操作の講習を行いました。講習は昼間と夜間に2日間開催し、参加者は24名でした。 ④ 土岐川堤防健康ウォーキングは5月に開催し、参加者は123人でした。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	現在は、ライフスタイルの多様化や暮らし方に対する価値観の違いにより、「住民同士のつながり」は希薄化しつつあります。住民が安全安心に暮らせるまちを作るため、住民相互による防犯・防災対策と、助け合おうとする意識の向上が特に今必要とされます。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2（継続）　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・事業への熱意、関心度を把握するため、各事業への事前申し込みを取り入れた上で事業を実施しています。 ・各事業は、瑞浪地区において、安全・安心に暮らせる為の重要な活動と認識しており、継続して取り組んでいきます。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	2
事業名	潤いのあるまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 花の苗の配布：30団体と小中学校に、春・秋の2回 各4,000ポット合計8,000ポット配布します。 ② 万尺川に蛍を：環境美化保全を目的に「万尺川に蛍を」事業を、地域住民と「瑞子連」及び小学生が一体となって清掃活動を行い、同時に幼虫800匹を放流します。ホタルを観る会を6月上旬、「瑞子連」と協働で行います。多くの親子の参加が見込まれます。 ③ 絵手紙・ちぎり絵教室：手書きのすばらしさと参加者相互のふれあいを通じ、「つながり」、「楽しさ」を味わっていただきます。年6回開催し、延べ120人の参加者で開催します。 ④ 男女共同参画事業：人生100年時代に地域住民としてどのように向き合うのか。講師を招き1回50人の参加者で講演会を開催します。	4
		実績値	① 花の苗の配布：潤いのある地域環境づくりを目的に、春と秋に、春は22団体・秋は24団体の計46団体に3,591ポットを配布しました。 ② 万尺川に蛍を：万尺川周辺地域の環境美化保全と家族の絆を強くするために、3月「瑞子連」の親子と地域の皆さんの10人で源氏ホタルの幼虫を100匹以上を放流しました。6月5日の蛍観賞会は「瑞子連」と協働で開催し、親子含わせて500人が参加し、蛍観賞を楽しみました。また、地域貢献企業（株）ダイナム様の会場提供の協力も得ました。 ③ 絵手紙・ちぎり絵教室：手書きの素晴らしさや温もりを味わいながら、年間6回、延べ112人が参加しました。 ④ 男女共同参画事業：「地域で考えよう！男女共同参画講演会」を開催、26名の参加者を得ました。 ⑤ 桜まつり実行委員会とまちづくりがコラボし、さくらさくら散歩道で昨年度初めて「バブルパフォーマンス」を開催しました。プロのパフォーマーの芸に酔いしれ、およそ1,000人の親子が観賞しました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	新しい生き方、新しい生活様式の実践が求められています。瑞浪地区が、住みやすく潤いのある美しく豊かな生活が出来るために、コミュニティ花壇の整備や環境美化啓発・環境保全活動を行い、笑顔あふれ元気な地域づくりが求められています。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2（継続）　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・美化啓発や環境保全は即効性が期待できないため、5年10年と継続した取り組みを行っていくことが肝要です。 ・行事、イベントを開催するにあたり参加者を把握するため、ほぼすべての事業を事前申し込みとしています。事前申し込みをすることにより、行事、イベントへの関心の度合いが測れると考えており、今後の事業継続性を観るうえでの指標になると考えています。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　瑞浪地区

事業番号　3

事業名　地域内の交流が活発なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	地域ぐるみ家族ぐるみで事業を開催し、家族を軸に地域的な連帯感に支えられた、人間らしい近隣生活を営む基盤づくりを目標としています。さつま芋苗の植付け50人、家族芋ほり大会50人、昆虫採集30人を予定し、夏の寺子屋を5日間開催します。	5
		実績値	① 5月18日、芋の苗植え付けに役員・地域の協力者・親子での参加者の合計80人余が参加し、それぞれ農業体験をしました。 ② 10月26日、第6回家族ふれあい芋ほり大会を開催しました。併せて、青空ワークショップも行いました。食の大切さと収穫の喜びを感じるとともに、家族の絆も深まりました。家族数は41家族。親子、中学生ボランティア等合わせて145人が参加しました。 ③ 8月2日、上山田公民館前広場で昆虫採集を行いました。大型昆虫は現れませんでしたが、子どもたちには笑顔があふれました。 ④ 駅前のMビルで、7月28日から5日間、夏の寺子屋を開催しました。生徒、ボランティア合わせて300人余の参加がありました。夏休みの子どもの居場所づくりにも役立ちました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域では住民同士の関係が希薄になっており、また、家庭では家族の会話が不足しているといわれます。 地域や家族で参加できる事業を展開し、家族や地域の絆をより強くし、これらを解消する一つのきっかけとなる機会を提供します。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				29
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・今年度も「地域の皆さんに元気を取り戻してほしい。」「生きるうえで生き甲斐を感じられる気持ちを抱いてほしい。」との思いを込めて、家族単位での事前申し込みによる方法で参加者を募り、実施しました。 ・参加のご家族が元気な笑顔と楽しい会話で芋の苗を植え付け、秋には芋の収穫の喜びを味わうことで、親子がふれあい、共通体験をすることで親子の絆も深められたことと思います。また、芋ほりの前に「青空ワークショップ」と称して、タープの張り方を学んだり、これからどのようなことをしたいかを付箋に書いて張り付け、みんなで学ぶ機会を設けました。	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	4
事業名	広報事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 広報誌の発行：まちづくり活動を地域住民に紹介し、事業の理解と各事業への参加を促進するめ、まちづくり新聞を全ページカラーで年2回発行します。 ② フェイスブック・ホームページの更新：フェイスブック・ホームページを随時更新、アクセス数の増加に努めます。 ③ その他の広報事業 平成18年に設置された「まちづくり活動」をPRするための野立て看板の劣化が進んだ、JR瑞浪駅前、瑞浪中学校、明賀台団地の野立て看板3枚張り替えます。	3
		実績値	① 広報誌の発行：51号（8月1日号）、52号（3月1日号）の年2回（1回5,000部）発行し、瑞浪地区に全戸配布しました。 ② フェイスブック・ホームページの更新：フェイスブックの月2回以上更新、ホームページの更新は準備不足により出来ませんでした。 ③ その他の広報事業 「まちづくり活動」をPRするため設置された野立て看板に汚染、変色、破損及び剥離があるため、2箇所の張り替えを行ないました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域住民の参加と協力を促進するためには、情報をわかりやすく伝えることが重要です。若者向けには、SNSやウエブサイトを活用、高齢者には、紙面による「まちづくり新聞」で情報を提供することで、まちづくり活動の進捗や成果を定期的に発信し、情報の共有化を促進することで信頼を図ります。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				26

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2（継続）　3 終了　4 廃止
意見・感想など	①事業ごとに事業のPRや実施後の活動報告を、まちづくり新聞で行いました。 ②今後は紙ベースの情報発信だけではなく、個人情報には注意しつつ、動画によるまちづくり活動をリアルタイムに発信していきたいと考えています。 ③引き続き新聞、チラシにホームページへのQRコードを印刷し、ホームページへのアクセス数を増加させられるよう努めます。

令和７年度

瑞浪地区まちづくり

事業実績記録

[1]　安全安心なまちづくり事業]

青色防犯パトロール（5 月～3 月まで毎週金曜日）

実施回数:42回／延べ人数:99人



土岐川堤防健康ウオーキング（5月25日）

土岐川堤防コース・高松観音コース／参加者 123 人



防災講演会（12 月7日）

参加者43人



普通救命講習会（9 月 17 日・20 日）

延べ参加者 24 人



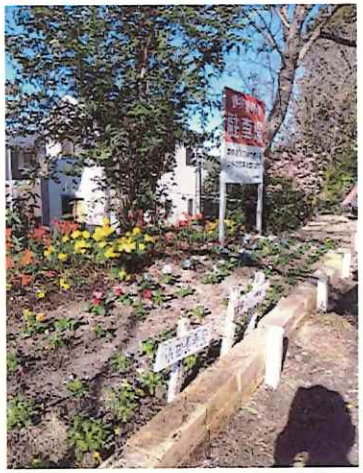
竹馬、竹とんぼづくり（9月21日）　参加者 50 人	健康講演会（2月22日）　参加者 24 人
	

［2］ 潤いのあるまちづくり事業

花の苗配布（5月30日・11月7日）

春：2016 ポット／秋：1575 ポット





心和ませ、自然を守る活動

ホタル観賞会（6月5日）



万尺川清掃、蛍の幼虫放流（3月21日）



絵手紙・ちぎり絵教室　　参加者延べ112人
（5月・8月・9月・10月・12月・2月の第1土曜日）



瑞浪美化チーム　　年4回



男女共同参画事業（7月23日）　　参加者26人



さくらさくらの散歩道（バブルパフォーマンス）
参加者 約1000人



［3］ 地域内の交流が活発なまちづくり事業

さつま芋苗の植え付け（5月18日）
参加者58人



家族ふれあい芋ほり大会と青空ワークショップ
（10月26日） 参加者 総勢145人



昆虫採集（8月2日）
参加者 50 人



みずなみ夏の寺子屋（7月28日～8月1日）
延べ 200 人



［4］　広報事業

まちづくり新聞の発行（51 号8月1日 ・ 52号3月1日）	野立て看板貼替（11 月）
	 